

埼玉東部消防組合財政事情の公表

埼玉東部消防組合では、財政事情の作成及び公表に関する条例に基づき、年2回財政状況について公表しています。

今回は、平成26年度決算及び平成27年度上半期（平成27年4月1日から9月30日まで）の状況についてお知らせします。

1 平成26年度決算の状況

平成26年度埼玉東部消防組合一般会計決算における歳入は77億6,909万3千円、歳出は74億610万円となっており、差引き3億6,299万3千円の黒字となっています。

なお、各数値は原則として単位以下で四捨五入しています。

(1) 歳入

(単位：千円)

款別	平成26年度 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)			
	予算額	構成比	決算額	予算比
分担金及び負担金	6,170,112	72.1%	6,170,112	100.0%
使用料及び手数料	5,495	0.1%	7,573	137.8%
繰越金	278,518	3.2%	278,522	100.0%
諸収入	14,473	0.2%	17,060	117.9%
組合債	2,066,600	24.1%	1,272,700	61.6%
国庫支出金	21,916	0.3%	21,916	100.0%
財産収入	1,210	0.0%	1,210	100.0%
合計	8,558,324	100.0%	7,769,093	90.8%

(2) 歳出

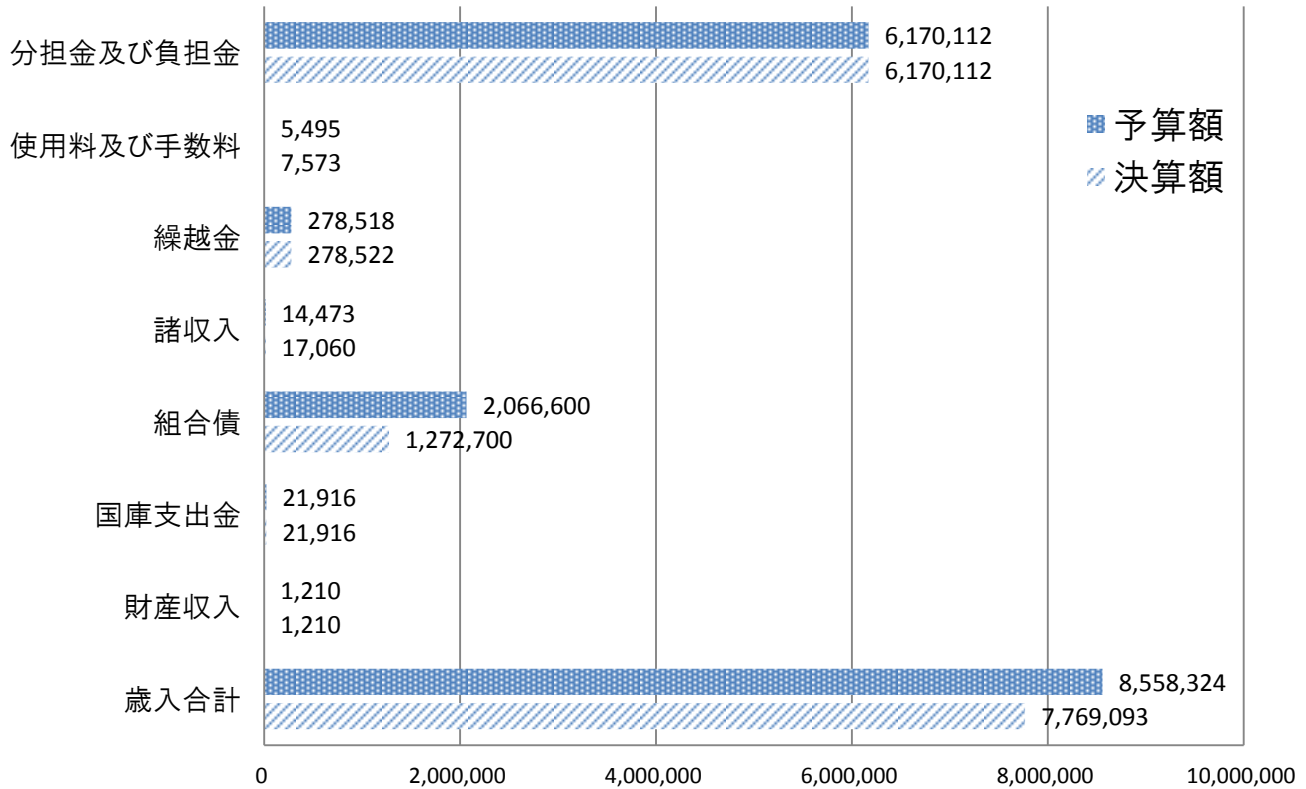
(単位：千円)

款別	平成26年度 (H26. 4. 1~H27. 3. 31)			
	予算額	構成比	決算額	予算比
議会費	2,562	0.0%	2,274	88.8%
総務費	1,670	0.0%	1,351	80.9%
消防費	8,247,612	96.4%	7,272,805	88.2%
公債費	129,730	1.5%	129,670	100.0%
予備費	176,750	2.1%	0	0.0%
合計	8,558,324	100.0%	7,406,100	86.5%

歳入、歳出共に予算額と決算額において約10億円の差額が生じていますが、これは主に高機能消防指令センター及び消防救急デジタル無線整備事業について、入札に伴い事業費が下がったため、借入れを予定していた歳入の組合債と事業費を見込んでいた歳出の消防費において、予算比が低くなっているものです。

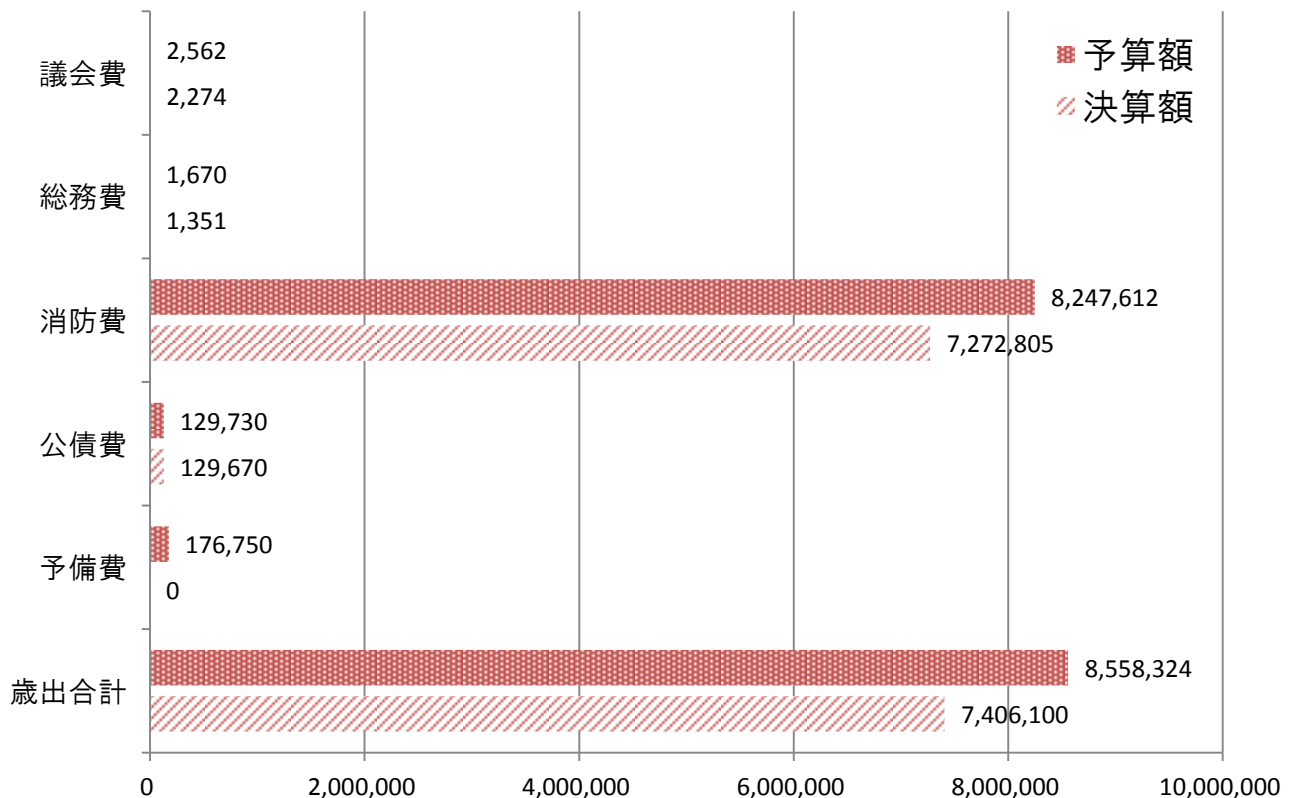
歳入決算の状況（平成26年度）

（単位：千円）



歳出決算の状況（平成26年度）

（単位：千円）



2 予算に対する収入及び支出の概況（平成27年9月30日現在）

平成27年度埼玉東部消防組合一般会計予算に対する平成27年9月末現在の収入及び支出の状況です。

（1）歳入

（単位：千円）

款別	平成27年度上半期（H27.4.1～H27.9.30）			
	予算現額	構成比	収入済額	予算比
分担金及び負担金	6,187,454	95.0%	2,984,056	48.2%
使用料及び手数料	5,788	0.1%	4,210	72.7%
国庫支出金	65,382	1.0%	0	0.0%
財産収入	1,029	0.0%	5,604	544.6%
繰越金	164,550	2.6%	362,994	220.6%
諸収入	13,946	0.2%	7,533	54.0%
組合債	73,200	1.1%	0	0.0%
合計	6,511,349	100.0%	3,364,397	51.7%

（2）歳出

（単位：千円）

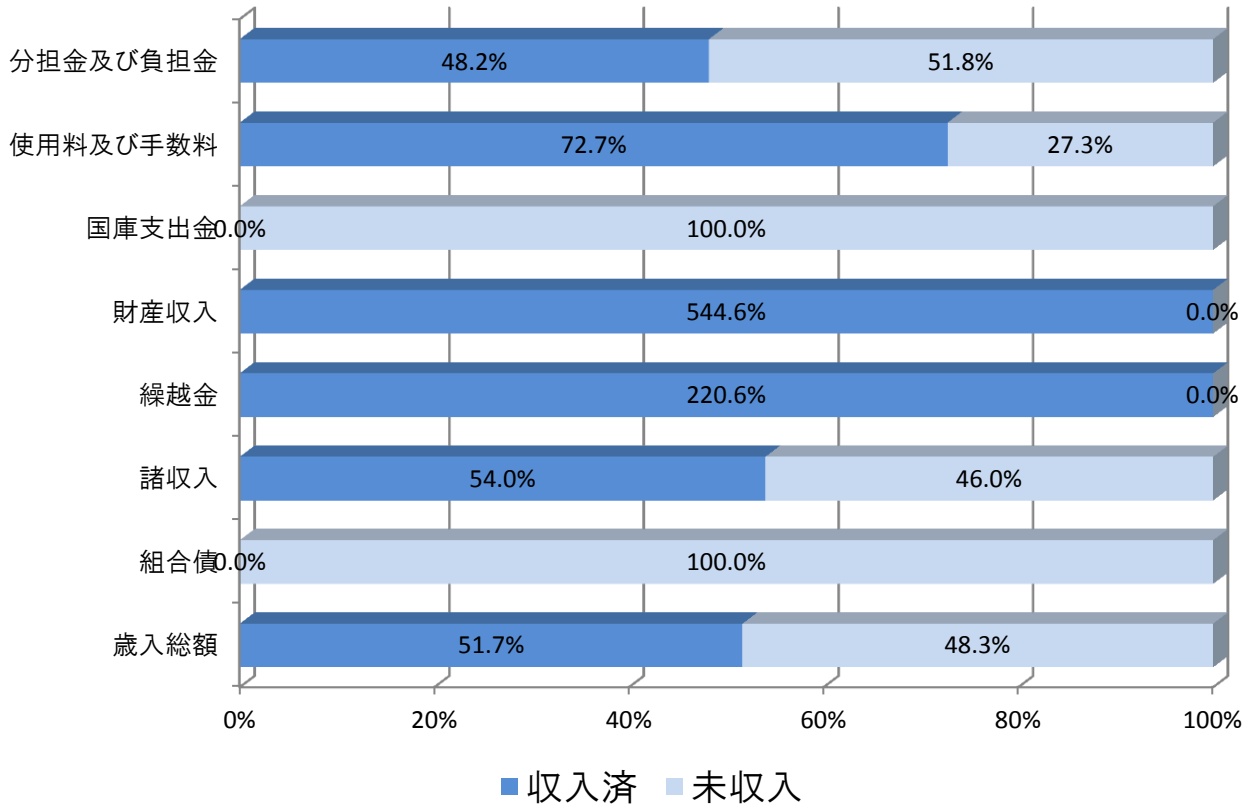
款別	平成27年度上半期（H27.4.1～H27.9.30）			
	予算現額	構成比	支出済額	予算比
議会費	2,543	0.0%	378	14.9%
総務費	1,583	0.0%	408	25.8%
消防費	6,350,179	97.5%	2,796,274	44.0%
公債費	147,044	2.3%	65,617	44.6%
予備費	10,000	0.2%	0	0.0%
合計	6,511,349	100.0%	2,862,677	44.0%

歳入における財産収入収入済額が、予算現額に対し544.6%となっているのは、今年度から消防署所に設置する自動販売機について、設置希望業者の公募による行政財産の貸付としたことによるものです。

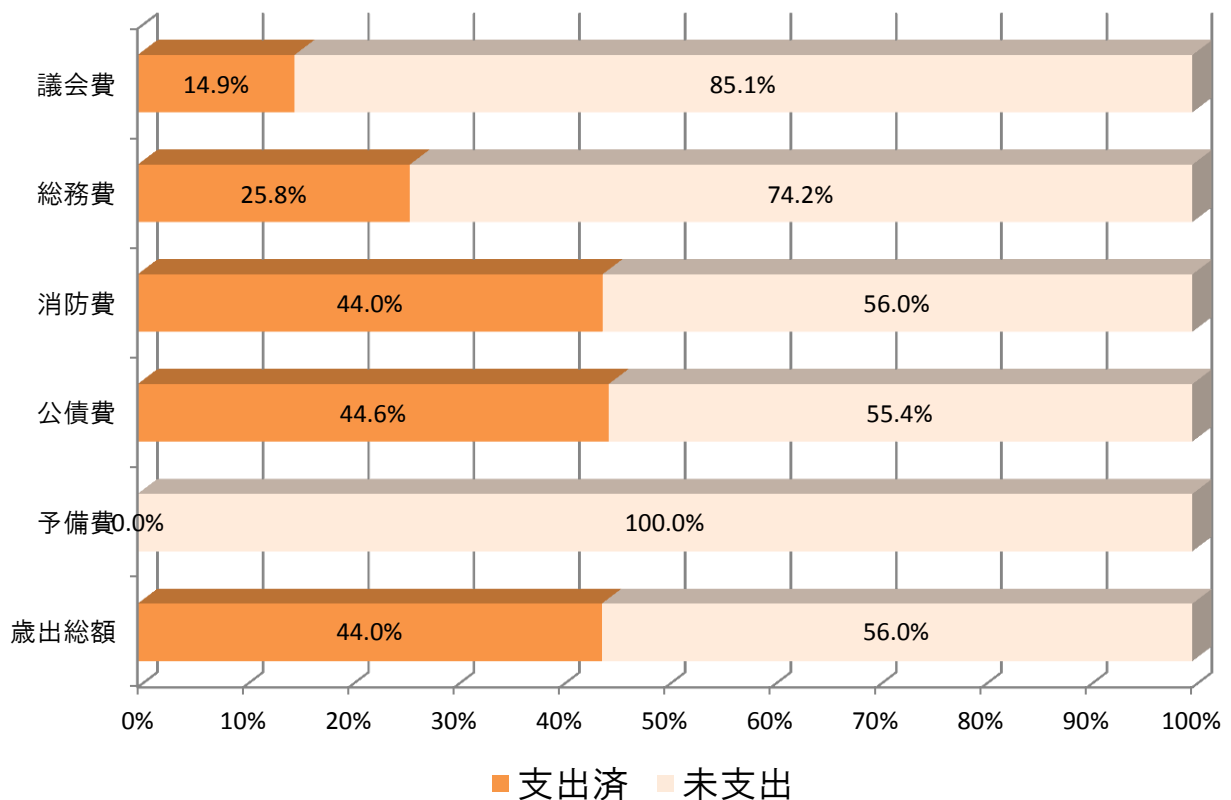
歳出については、上半期で予算比約44%の執行状況となっており、概ね計画的な事業執行が図れています。

引き続き、確実な歳入の確保と適切な事業執行による経費の削減に努めていきます。

収入の状況（平成27年度上半期）



支出の状況（平成27年度上半期）



3 住民の負担の状況

平成26年度決算及び平成27年度上半期の歳入、歳出予算額に対する管内住民一人あたり、一世帯あたりの負担の状況です。

	平成26年度決算(A) H27. 3. 31現在	平成27年度予算(B) H27. 9. 30現在	比 較 (B-A)	比 率 (B/A)
管 内 人 口	453,405 人	452,661 人	▲ 744 人	99.8%
管 内 世 帯 数	182,021 世帯	182,033 世帯	12 世帯	100.0%
歳 入 決 算 / 予 算 額	7,769,093 千円	6,511,349 千円	▲ 1,257,744 千円	83.8%
住民一人あたり負担額	17.13 千円	14.38 千円	▲ 3 千円	83.9%
一世帯あたり負担額	42.68 千円	35.77 千円	▲ 7 千円	83.8%
歳 出 決 算 / 予 算 額	7,406,100 千円	6,511,349 千円	▲ 894,751 千円	87.9%
住民一人あたり負担額	16.33 千円	14.38 千円	▲ 2 千円	88.1%
一世帯あたり負担額	40.69 千円	35.77 千円	▲ 5 千円	87.9%

※ 管内人口・世帯数のデータについては、組合市町公表の統計の都合上、4月1日、10月1日現在の値の場合があります

管内人口は微減、世帯数は微増となっておりますが、平成26年度に実施した高機能消防指令センター整備事業の完了に伴い、平成27年度の歳入歳出予算額が前年と比べ減少したことから、住民一人あたり負担額、一世帯あたり負担額とも減少しています。

4 財産、公債及び一時借入金の現在高

消防組合が保有する財産、銀行等から借入れている地方債や一時借入金等の状況です。

(1) 不動産（土地及び建物等）の状況

消防組合が所有している土地及び建物の状況です。土地については、組合市町と土地使用貸借契約を締結し、組合市町所有の土地を無償で借り受けています。

(単位：㎡)

署 所 別	平成26年度末		今年度中増減		平成27年9月末	
	建 物	工 作 物	建 物	工 作 物	建 物	工 作 物
消防局・久喜消防署	3,604.57	28.00			3,604.57	28.00
東 分 署	349.10	0.00			349.10	0.00
鷲 宮 分 署	910.10	9.20			910.10	9.20
菖 蒲 分 署	367.13	0.00			367.13	0.00
栗 橋 分 署	373.94	0.00			373.94	0.00
加 須 消 防 署	4,215.80	54.05			4,215.80	54.05
加 須 南 分 署	765.13	28.80			765.13	28.80
騎 西 分 署	482.86	28.80			482.86	28.80
北 川 辺 分 署	527.98	15.00			527.98	15.00
大 利 根 分 署	482.26	14.40			482.26	14.40
幸 手 消 防 署	1,170.31	0.00			1,170.31	0.00
西 分 署	1,148.90	0.00			1,148.90	0.00
白 岡 消 防 署	934.34	12.96			934.34	12.96
篠 津 分 署	678.44	24.00			678.44	24.00
宮 代 消 防 署	1,869.71	9.72			1,869.71	9.72
中 島 出 張 所	129.60	0.00			129.60	0.00
杉 戸 消 防 署	1,663.32	6.70			1,663.32	6.70
泉 出 張 所	571.70	0.00			571.70	0.00
合 計	20,245.19	231.63	0.00	0.00	20,245.19	231.63

※ 建物とは、主に屋根及び壁等を有する建築物

※ 工作物とは駐輪場や簡易的な訓練塔などの建物以外の施設や建築面積が10㎡以下の建物

(2) 物品（車両、通信機器等）の状況

消防組合で所有している財産のうち、車両や通信機器等の物品の状況です。緊急性や必要性に応じて、計画的な整備、更新を図ります。

(平成27年9月30日現在)

車 両 等 名 称		前年度末 現在高	今年度中		平成27年9月末 現在高	
			増	減		
緊 急 車 両	水槽付消防ポンプ自動車	台	15		15	
	消防ポンプ自動車	台	15		15	
	化学消防ポンプ自動車	台	5		5	
	はしご付消防自動車	台	3		3	
	救助工作車	台	6		6	
	高規格救急自動車	台	18		18	
	指揮車	台	6		6	
	指令車	台	17		17	
	支援車	台	1		1	
	資機材搬送車	台	3		3	
	非常用消防ポンプ自動車	台	2		2	
	非常用救急自動車	台	5	1	4	
	緊 急 車 両 以 外	作業運搬車	台	8	1	7
事務連絡車		台	19		19	
ボートトレーラー		台	2		2	
救助艇（船舶登録済）		台	16		16	
計			141	0	2	139

通 信 機 器 等 名 称		前年度末 現在高	今年度中		平成27年9月末 現在高
			増	減	
消防緊急通信指令システム（Ⅲ型）	式	1			1
無線基地局	基	1			1
移動局（車載型）	基	97			97
移動局（可搬型）	基	7			7
移動局（携帯型）	基	196			196
計		302	0	0	302

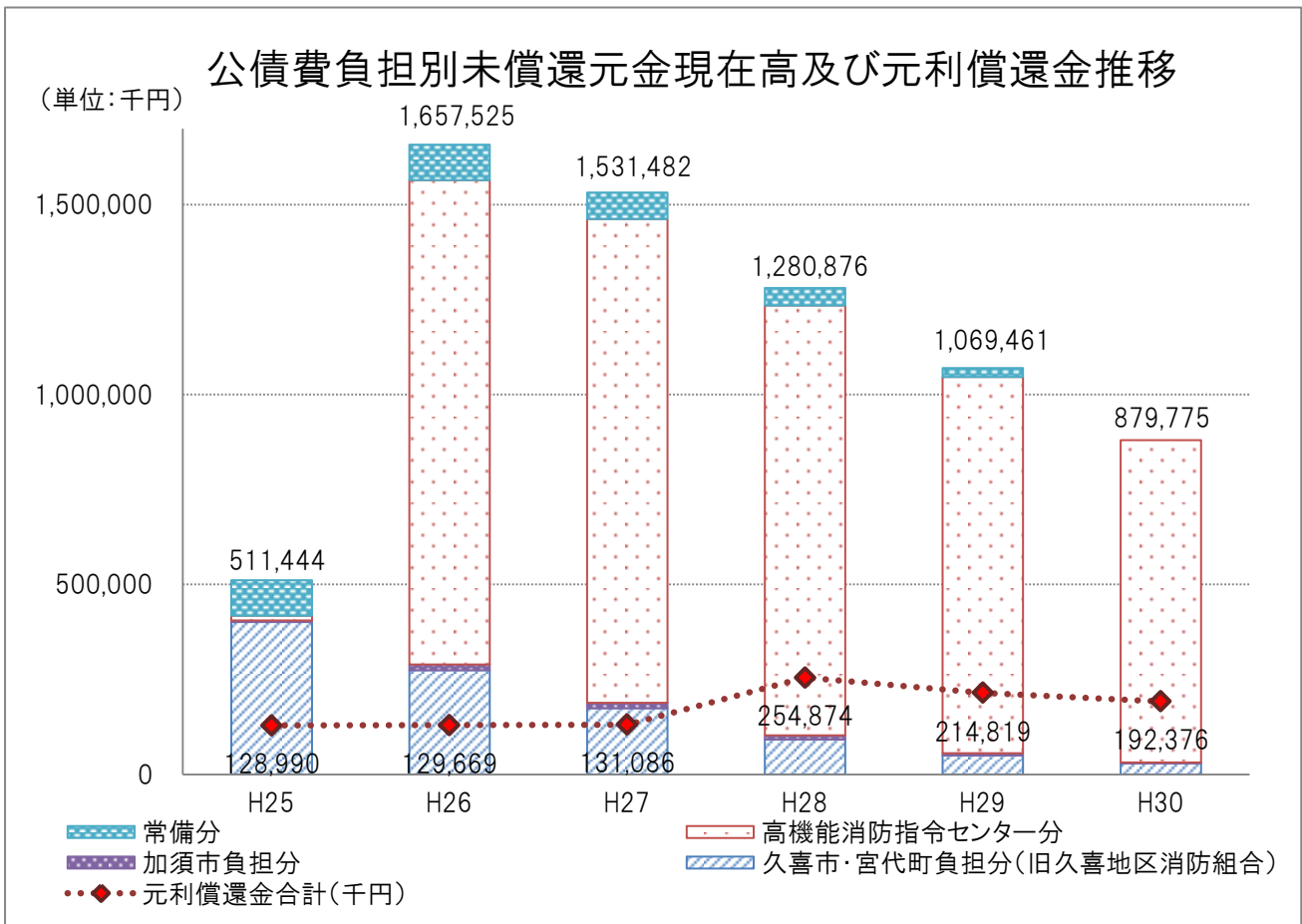
(3) 組合債の状況

消防組合（旧久喜地区消防組合を含む）が借り入れた地方債の現在高と元利償還金の状況です。

（単位：千円）

		平成26年度末 現在高	平成27年度中 借入額	今年度元利償還額		平成27年9月末 現在高
				元金	利子	
組合債合計		1,657,525	0	63,002	2,615	1,594,523
借入先別	簡保資金	73,663	0	5,922	479	67,741
	銀行等資金	1,389,510	0	13,998	1,547	1,375,512
	共済等資金	87,292	0	17,722	444	69,570
	その他資金	107,060	0	25,360	145	81,700

今年度は、過去に借り入れた地方債に係る上期分の元利償還を実施しました。



(4) 一時借入金等の状況

一時借入金はありません。

※ 一時借入金とは、地方公共団体の一時的な現金不足を補うために、財政法等に基づいて金融機関から借入れる短期の借入金